

# 平成 15 年度インターンシップの実施報告

インターンシップ委員会

野澤 智, 杵淵 友子

藤本孝一郎, 和田美知子

## 1. はじめに

城西大学女子短期大学部では、『インターンシップ』を経営情報実務学科 1 年次生の必修科目としている。ここに、平成 15 年度インターンシップ実施の概要と、実施後に行われた学生アンケートの集計結果について報告する。

本年度のインターンシップは、1 年次に履修した『オフィスワーク演習』や『コンピュータ演習』などの内容を自己確認できるように事務系の実習先を優先して、近隣 6 市の市役所、銀行・証券 3 社、建設・製造 4 社、情報・サービス等 5 社にご協力をお願いした。計 4 回の事前指導およびガイダンスの後、平成 16 年 2 月 2 日（月）～6 日（金）にかけての 5 日間、42 名の学生が実習に参加した（ただし 1 社は 1 月 29 日～2 月 4 日、1 名は病気のため 2 月 16 日～20 日）。学生たちは受け入れ担当者各位の懇切丁寧なご指導のもと、大過無く実習を終了した。

入学直後から様々な形で学生の職業意識の啓発に努めてきた結果、ほとんどの学生はインターンシップに対する高い目的意識を持って実習に臨めたようである。実習終了後の学生アンケートの集計結果（後述）を見ると、働くことの意義や自分自身の適性・欠点を発見し、今後の就職活動に向け、職業意識をさらに深める効果が大きかったように思われる。

## 2. 平成 15 年度インターンシップの概要

### I. 趣旨

経営情報実務学科の教育の一環として、インターンシップを行う。インターンシップとは、学生を企業・団体・官公庁等（以下、企業等という）に派遣し、その業務の一部を実習させることをいう。とくに、短大で習得した知識・技能・マナーなどを実際の職場で経験することによって自己の長所や短所を知り、将来の職業人としての活動に役立てることがねらいである。

## Ⅱ. 実習条件

勤務時間 受け入れ先始業時～終業時

給 与 無 給

服務規律 受け入れ先の指定に従う

業務上災害 本学，学生において処理する

## Ⅲ. 単位の認定

実習を修了したものには，科目「インターンシップ」2単位を認定する。

## Ⅳ. インターンシップ参加学生

経営情報実務学科1年生，合計42名

## Ⅴ. インターンシップ受け入れ先

18社（市役所・団体を含む）

## Ⅵ. 実習期間

平成16年2月2日（月）～2月6日（金）

## 3. インターンシップの実施日程

本学では，後期に『オフィスワーク演習』を必修科目として開講しており，挨拶，お茶だし，電話応対，接遇などのビジネスマナーについての演習を行っている。さらに，インターンシップのための事前指導およびガイダンス等を下記の日程で行った。

- (1) 第1回ガイダンス 7月4日（金）インターンシップの概要説明
- (2) 第2回ガイダンス 10月20日（月）実習地希望調査等の提出
- (3) 一言PRの清書 11月12日（水）
- (4) 実習先の発表 12月5日（金）
- (5) 第3回ガイダンス 12月8日（月）インターンシップ日誌などの配布
- (6) 第4回ガイダンス 1月9日（金）実習先についての詳しい説明
- (7) 実習先への事前訪問 1月下旬
- (8) インターンシップ実施 2月2日（月）～6日（金）
- (9) インターンシップ実施期間中に担当教員が実習先企業等を訪問
- (10) 実習終了後，実習先に礼状を，事務室宛にアンケートを郵送

#### 4. 学生アンケートの集計結果

実習終了後に、以下の10項目についてのアンケート調査を行った。ここに、その集計結果を報告する。(参加者42名全員が回答した。)

(1) どのような仕事をしましたか。主なものを3つまで選んでください。

集計結果を図1に示した。図1から明らかなように、例年の傾向であるが、コンピュータ操作による資料作成や書類整理など、補助的事務業務がその中心であることがわかる。また、施設の見学等、受け入れ先の学生に対する教育的配慮がうかがえる。図1で「その他」の内容は、アンケート集計、ナンバリング押し、ゴミの分別作業、郵便物の取り扱いなどであった。

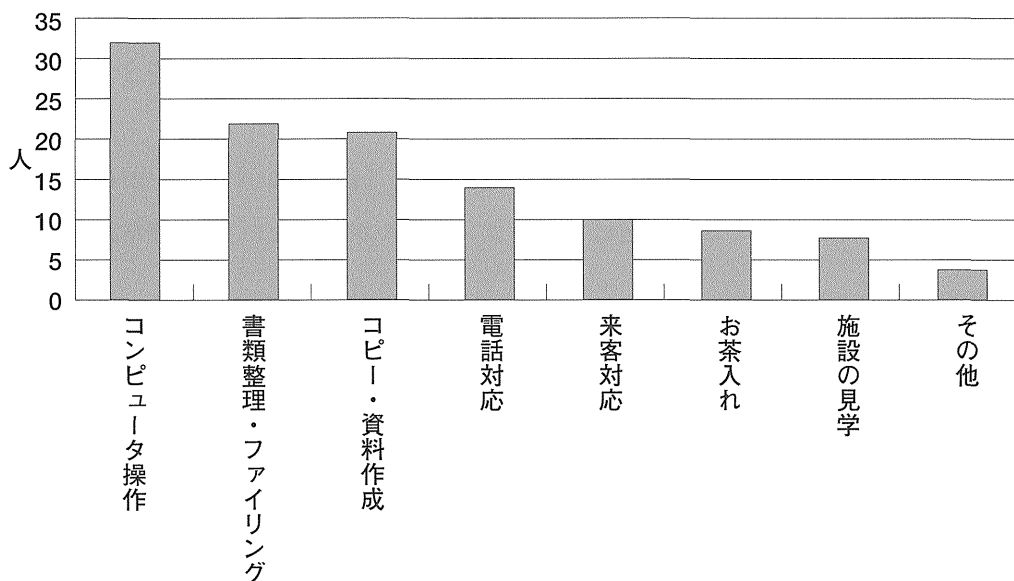


図1 実習中の仕事の内容

(2) 実習を通してどのようなことを学びましたか。主なものを3つまで選んでください。

集計結果を図2に示した。昨年と比較すると、「職場の人間関係」を選んだ比率が高く、逆に「一般常識」の回答比率が低くなっている。図2で「その他」の内容は、福祉施設の内容、一番大切な事、実践的な電話応対などであった。

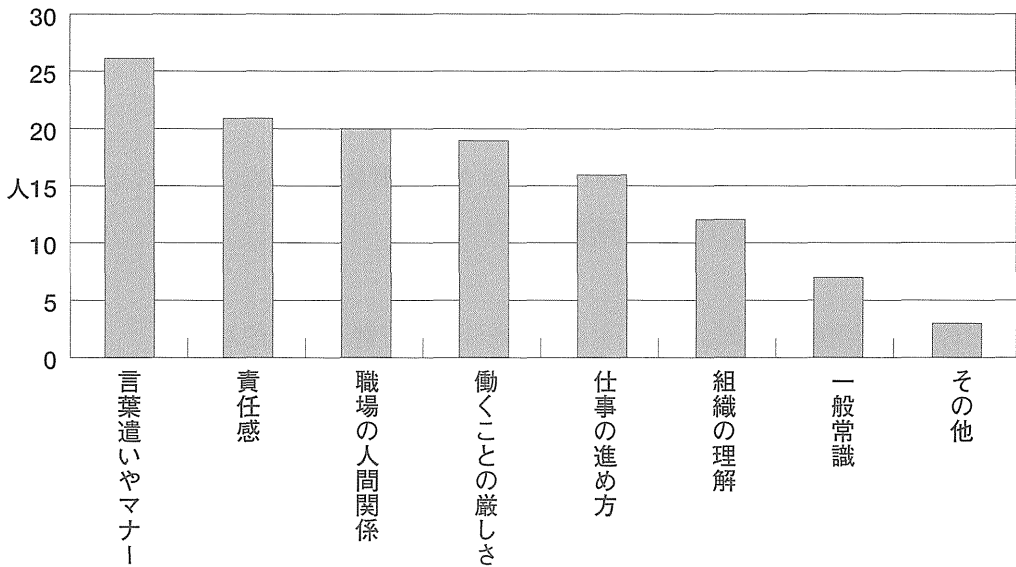


図2 実習を通して学んだこと

(3) 実習を通して自分の問題点として気づいたことは何ですか。主なものを3つまで選んでください。

集計結果を図3に示した。昨年の結果と比較すると、「言葉遣いやマナーが身につかない」の回答比率が低くなり、逆に「パソコンスキルが足りない」「一般常識が足りない

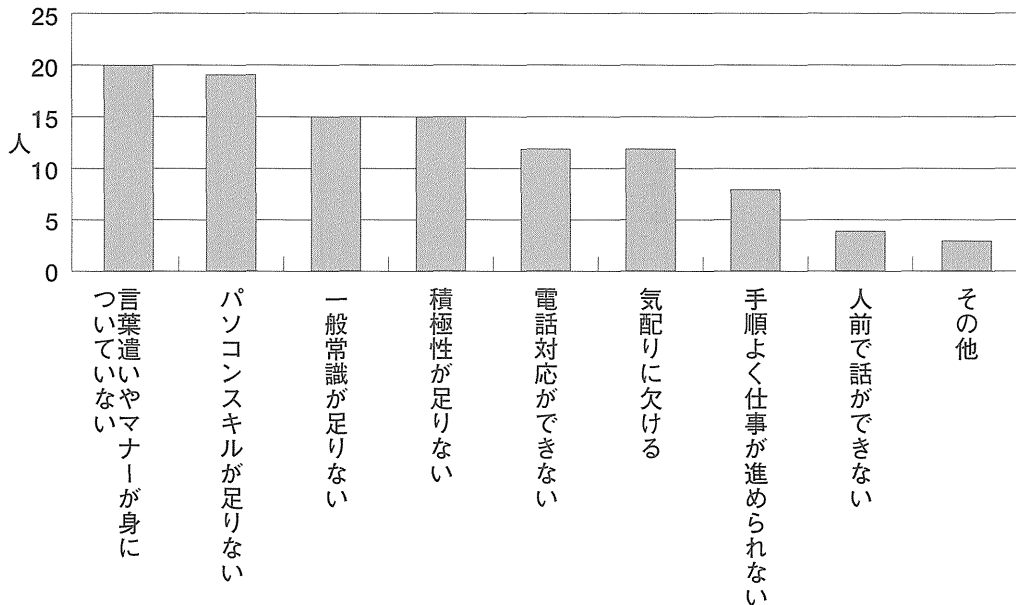


図3 自分の問題として気づいたこと

い「気配りに欠ける」を選んだ学生の比率が高くなった。図3で「その他」の内容は、人の名前と顔をすぐ覚えられない、自信や勇気がない、臨機応変に対応できないなどであった。

(4) 実習期間（5日間）は適当だと思いますか。

図4に示すように7割の学生が5日間の実習が適当であると回答している。

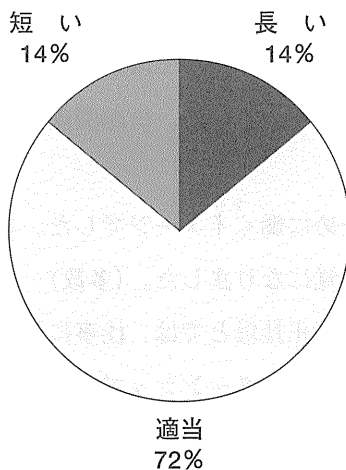


図4 実習期間について

(5) インターンシップを体験してよかったですか。

図5に示すように95%の学生が体験して良かったと回答している。しかし、「非常に良かった」という回答は、昨年の59%から大幅に減少している。

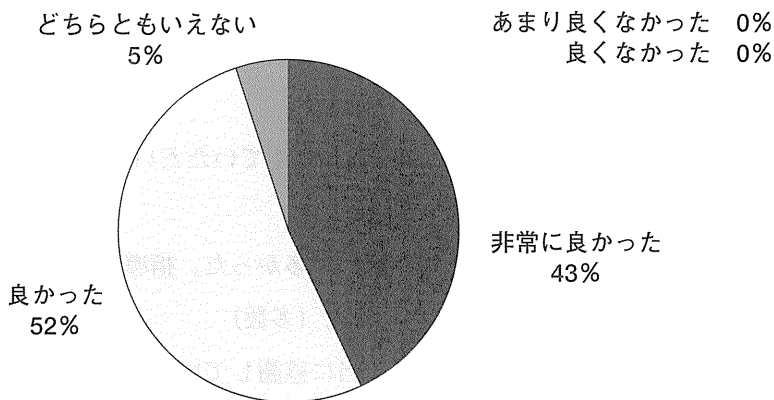


図5 実習を体験してよかったか

(6) 「働くということ」について、どのように考えていますか。また、実習の前と後では考え方に変化がありましたか。

以下に、その代表的な例を示す。(多数)と記したものは、同様な内容のものが複数あるいは多数あったことを示している。

- ・実際に実習して、働くことが今まで自分が考えていた以上に厳しいことだと思いました。(多数)
- ・一人ひとりが自分の仕事に責任感を持って取り組んでいること。(多数)
- ・会社というものは組織で動いているため、信頼関係が何よりも大切であると知りました。(多数)
- ・生活するためや自立するために働くイメージでした。しかし、事務の仕事を学んで、働くことが楽しいという感覚になりました。(多数)
- ・働くと言ってもアルバイトと正社員とでは、仕事に対する責任感がまったく違うとは聞いていましたが、今回のインターンシップで実際に自分の目で見て体験したことにより、そのことを一層感じました。
- ・私は、働くということは、ただお金を稼ぐという感覚でした。実習をしてみて、働くとは、お金を稼ぐというだけでなく人間関係もよく楽しく働くことができれば最高だと思えます。
- ・今までは仕事を毎日続けるという事をあまり現実的に考えることが出来ませんでした。今回通勤から経験することが出来、大変さを知ることが出来てよかったです。

(7) 実習先でお世話になった方、指導していただいた方に対して感じたことを書いてください。

以下に、その代表的な例を示す。

- ・とても優しい人達ばかりで親切に色々教えていただいたので、感謝しています。(多数)
- ・5日間という短い間だったけど得たものは多かった。指導していただいた方のお陰だと思うので感謝の気持ちでいっぱいです。(多数)
- ・たくさんの方に指導していただき、本当に感謝しています。仕事の話だけではなく、色々な話をしていただき、毎日すごく充実していました。(多数)
- ・本当に色々教えてくださってありがとうございました。(多数)
- ・緊張している私に明るく話しかけてくれたり、何でも質問に答えてくれたり、とても

親しみやすく心強い存在でした。

- ・いろいろな係りを実習させていただきましたが、みなさんの気配りがすばらしく見習おうと思いました。
- ・初めてする仕事に戸惑ってばかりいて迷惑をかけていたけれど、丁寧に仕事を教えてくれたりアドバイスをしてくれたりしました。

(8) インターンシップで経験したことや学んだことを、今後の学生生活にどのように生かしていきたいと思いますか。自分なりの課題や目標もあげてください。

以下に、その代表的な例を示す。

- ・言葉遣い（特に敬語）や会社でのマナー、仕事の進め方を学びました。（多数）
- ・積極的に自分の意見などもはっきり言えるようにしたいと思いました。（多数）
- ・私には責任感が欠けていると思いました。（多数）
- ・パソコンを使った作業が多く、エクセルが苦手なので慣れておきたいと思いました。（多数）
- ・担当の方々と色々と話している時、やっぱり一般常識がないと恥ずかしかった。SPIなどの勉強をして覚えていきたいと本当に思った。（多数）
- ・自分が何をしたいかしっかりと考えて就職活動していこうと思った。自分がしたい仕事をするのが大事だと思った。（多数）
- ・何の職業であっても、お客様の幸せを願って働く事が成功の秘訣だと思います。私も、広い視野を持って、周りの人につくせる人でありたいと思います。
- ・自分の全く考えていなかった職場で働いたことを一つの可能性のように捉え、今後の就職活動を幅広いものにしていこうと思いました。
- ・自分の働きたい仕事やっと見つかったので、そのことができる会社に入社できるように自分なりの努力をしていきたいと思います。

(9) 実習前のガイダンスなどについて、意見があれば書いてください。

以下に、その代表的な例を示す。

- ・無回答または、特にありません。（多数）
- ・礼状の書き方について詳しく知りたかったです。
- ・受け入れ先の様子をもっと知りたかったです。
- ・できれば、実際に体験した2年生からどんなことをしたか事前に教えてもらいたい。
- ・5時限にガイダンスがあると帰るのが遅いのでよくないです。

- ・きちんと参加したほうがよい。
- ・プリントがとてもわかりやすかったと思います。

(10) 来年度、インターンシップに参加する後輩へのアドバイスを書いてください。

以下に、その代表的な例を示す。

- ・初めは不安ばかりで緊張するけれど、企業の皆さんはとても優しい方なので、安心して実習することができます。(多数)
- ・初めはめんどくさい気持ちがあると思いますが、実習に行ってみると色々な経験ができ、必ず自分の為になると思います。(多数)
- ・敬語やマナーをしっかり勉強して身につけておいた方がいいです。(多数)
- ・自分から積極的に動く方がいいと思います。勇気を出して一步踏み出すことが大切だと思います。(多数)
- ・仕事は責任感を持ってがんばってください。(多数)
- ・わからない事があったら、そのままにしないで質問したほうがいいと思います。(多数)
- ・仕事について色々な事を聞けるので、就職活動にきっと役立つと思います。(多数)
- ・元気な返事と自分から質問する積極性、メモをとる習慣を身につけると良いと思います。
- ・コンピュータ演習、オフィスワーク演習の授業を休まず、理解していけば安心だと思います。
- ・実習先に行ったら仕事中は実習生だと思わず、社員だと思って仕事をした方がいいと思う。積極的に仕事を見つけて行動し、色々な経験をした方がいいと思う。
- ・朝が早いので睡眠をとり、体調管理をしっかりとした方がよい。
- ・知らない事はきちんと知らないと言い、ウソをつかない方がよい。
- ・自分に何が足りないか分かるチャンスを与えてもらえます。中途半端な気持ちでいると、中途半端に終わってしまう。